

介護支援専門員実務研修 13日目

実習振り返り 《第14章》

1

実習振り返りのねらい

下巻P62～

◆振り返りを行うことの目的

《見学実習、アセスメント・ケアプラン原案作成において》

①実習を通じて体感した「気づき」「迷い」「悩み」「不安」などを言語化する

②自分の理解が深まった点、習熟出来ていない点の明確化

③ケアマネジメントプロセスにおける自身の課題について再確認する

2

実習報告のまとめ・学んだこと

I 「見学実習報告書」等を振り返りながら実習で感じたことを言語化しましょう

1、見学実習 3日間の概要

2、実習で感じた事の言語化・振り返り

- ① 利用者宅へのモニタリング同行訪問
- ② 担当者会議への参加
- ③ ①②以外、実習で体験したこと

◆個人ワーク(40分)

◆グループワーク(40分)

(1人15分 《説明＋メンバーとの意見交換》×4人)

3

実習報告のまとめ・学んだこと

II アセスメントからケアプラン原案作成実習について振り返る

①情報収集・情報の分析について

②ケアプラン原案作成について

・難しかった点 悩んだ点 気づきなど

③実際に取り組んで改めて感じたこと

◆個人ワーク(15分)

◆グループワーク(15分)

4

実習報告のまとめ・学んだこと

III ケアマネジメントプロセスにおける自身の課題について

◆個人ワーク(10分)

◆グループワーク(10分) 発表

5

まとめ

下巻P69

◆ 実習は、ケアマネジメントの実践現場を体験(体感)し、介護支援専門員としての姿勢や職業倫理、要介護高齢者の多様な生活の実態を知ることが目的

「介護支援専門員資質向上事業ガイドライン」(令和5年4月)より

・「尊厳の保持」、「自立支援」の実践のためには、専門的な知識とともに介護保険制度をはじめとした関連する制度・政策の理解も必要である

・知識や理解は表面的な知識に留まらず、「なぜそうしたケアが必要あるいは有効なのか」、「なぜそうした制度、政策になっているのか」、「尊厳が保持されるとはどのようなものなのか」といった理由や背景に対する深い理解や、ケアの実践における倫理観を持つことが求められる

6

まとめ

下巻P69

- ・社会環境の変化に伴い、これからの介護保険制度のありようが見直される環境において、介護支援専門員には、こうした問いに対して自分なりに説明ができる資質が求められていることから、こうした説明ができる資質の向上の必要性が高まっている